臺灣日日新報 昭和十四年十一月三日（月曜日） 第一万四千二百四十七號 A（一）
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
臺灣日日新報
本日四頁
臺北市榮町四丁目二番地 電話新聞日日新報社 電話編輯代表五〇〇番 運動具一四八〇番 電話廣告部一〇五番 電話販賣部一〇六番 電話印刷部一〇二六番
臺北 人行發兼編輯 佐藤 所行發
本社 料金前納 定價 本一部六錢 一行十五字 同五拾錢 同五拾錢
廣告 特別一行 同式 同五拾錢
振替口座臺北一〇番 一行 同式 同五拾錢
（日本國內及滿洲國內各地郵便料金前納）
一ヶ月金四圓八拾錢 三ヶ月金拾二圓 六ヶ月金廿四圓 一ヶ年金四拾八圓
（日本國內及滿洲國內各地郵便料金前納）

インキのいらぬ 新朝日 万年スタンプ

明年度普通歲入見積額
四十億八千萬圓の巨額

【東京十二日發同盟】大藏當局では十二日の閣議で明年度稅制改革に伴ふ稅收見積額を除いた稅收入其他の普通歲入の見積に關し最終の結果明年度經常に見積らるべき普通歲入總額は本年度豫算計上額に比し一億七千五百二十三万二千四百を增加し二十二億五千二百四万二千四百に達することが明かとなつた、右は臨時產業の利潤增大に依る所得稅、臨時利得稅、臨時產業增加及び支那事變特別稅法の半年度化に依る增收等に基くものでこの外臨時部の稅收基礎に依る增收額は七億三千万圓（地方分附金を除く）純增收額は五億圓）に上る豫定であるからこれを加算すれば明年度普通歲入見積額は四十億八千万圓の巨額に達することとならう、尙ほ稅制改革に依る增稅收入は本年と同樣その一定額を明年度臨時部の稅收に繰入れる豫定である、殊して十一日の豫算編成の結果決定した稅稅、印紙收入及び專賣收入の見積額（稅制改革關係を除く）を示せば左の通りである（單位千圓、括弧內は十四年度との比較增減）

稅收入（臨時部及び臨時部合計）二、五五五、一七四（三一、九〇六、三四〇）印紙收入一〇六、三八〇（九、一二一、五七七）稅收入合計二、六七一、四八三（二三、一五一、二一三）

稅收入以外の普通歲入六八〇、五六〇（五九、八九〇）普通歲入合計三、三五二、〇四三（七五、一三三）

臨時部收入

稅收入（臨時部及び臨時部合計）一、一〇〇、（增減）

稅收入以外の臨時歲入 多數

普通歲出五十億圓（一般會計）
公債發行總額五十億圓を超えん

（豫算のみで）

【東京十二日發同盟】明年度歲入豫算の編成に於ける普通歲入は稅制改革に伴ふ增收額を加算すれば四十億円の巨額を算出られてゐるが二面に於いて歲出の膨脹も著しく一般會計總豫算のみで總額五十億圓を突破の形勢なのでこれが歲入補塡のための公債發行額は本年度發行額を超え一億圓を算出られてゐるが二面

滿蒙國境の劃定

豫備會談終了す
日ソ雙方が合意と見

東ソ大使歸任 外相 大使會

【モスクワ十二日發同盟】東鄉駐ソ大使は十二日午後五時外務人民委員部に於ける外務人民委員を訪問懇談の滿蒙國境劃定委員會の

白、蘭兩國の侵犯如何
獨、斷定的言明を避く
第三國筋疑心に拍車

【ベルリン十一日發同盟】ドイツとベルギー及びオランダ兩國間の國際線の交通は十一日から殆んど全部となり外國人の出國も殆んど許可されず國際方面の警戒も嚴重を極め情勢の緊張化を思はせるものがある、從つて十一月午前のドイツ外務省定例會見においても質問の矢は同問題に集中されオランダ、ベルギー、米國等の各國記者とドイツ當局との間に活潑な應酬が行はれたがドイツ當局はオランダ、ベルギー兩國國境の不穩な動きが傳はれたがドイツ當局は兩國に對し絕對に中立を嚴守することを明確に保證を與へなかつたオランダ、ベルギー兩國國境不穩の報はヒトラー總統はじめドイツ政府當局が吾三國言してゐた所である、從つて十一月午前の

ドイツ

外務省定例會見において質問の矢は同問題に集中されオランダ、ベルギー、米國等の各國記者とドイツ當局との間に活潑な應酬が行はれたがドイツ當局はオランダ、ベルギー兩國國境の不穩な動きが傳はれたがドイツ當局は兩國に對し絕對に中立を嚴守することを明確に保證を與へなかつたオランダ、ベルギー兩國國境不穩の報はヒトラー總統はじめドイツ政府當局が吾三國言してゐた所である、從つて十一月午前の

ドイツ

外務省定例會見においても

戰時體制下の經濟事情 (十六)

海運統制の新機構

價格統制から配給統制へ移行

去る一九一四年、即ち大正三年上り満二十五年にて歐洲には再び戰亂が勃發し、爾ソの破綻分離後一時和平に向はんかに見えた歐洲の禍機は遂に決定的として擧くる處なく、其の惨禍が更に深刻化する新局面を展開するに至つたやうである。さなきだに事變以來多忙なる我が海運界に過劇なる歐洲大戰當時の如きは勿論、第二次歐洲大戰當時の三倍以上に相當するやうである。此の我が國海運界の飛躍的發展は第一次歐洲大戰に際會し、期せずして海運國の地位に確保し

或は先驅

の感あり、げにや我國日本に海運は付き物であり日本の大發展も將又對外海運なくしては期せられないのである。又我が海運業者が外國から獲得する運賃收入は貿易收支改善に果たした國際收支の改善に我が經濟力擴充に貢獻する所以ないのである。事は已に我が海運の地位と國家的使命は重且つ大であり從つて日支事變後に於ける海運業者の責任と云ひ負擔と云ひ實に重且つ大なるものがある。而してその使命の遂行には政府當局の監督指導も去ることながら官民一體民に統率發揮を俟たねばならぬ。

他の業界

其の自治的統制振りは恐らく見ないと云つても好い位である。即ち昭和十二年七月盧溝橋事變當時海運界は他の產業界に率先して帝國陛下の非常時に即する公正なる船舶の運營を期す」目的で日本郵船外七社間に海運調節が取り決められ翌年八月には海運自治機關の主唱に依り我が國を中心とする主要運賃及び傭船料の協定を見て同年十一月には日本船主協會及び海運自治統制會は「國策に順應し自治

時局關係

物資の荷動きはいやが上に増加し、さなきだに船腹不足に惱み來れる我が國海運界は此の荷動きに對應して適切なる新對策を講じなければならなくなつた。特に物資動員計畫實施に伴ひ強度の統制を必要とし從つて海運統制の强化を必要とするに至つたのである。

配給機構

陸上の急務なるを唱へらるるに至り海運當局の注意を喚起するの已むなきに至つた。

第三國も茶を初め好調

數 一〇四 五、四五〇
價 一、三五〇 一、三五〇

◇豚(千貫)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇羽毛(千斤)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇國際郵便小包及加工品(噸)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇其他雜品
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇計
價 八、八〇〇 六、八〇〇 一、三〇〇

重要品別臺灣貿易

輸出一圓圈內向は概して旺盛

第三國も茶を初め好調

◇包種茶(千斤)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇紅茶(千斤)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇粉茶(千斤)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇砂糖(千噸)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇樟腦(千斤)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇石炭(千噸)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇織物及人造纖維物(千万噸)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇國際郵便小包及加工品(噸)
數 一、三〇〇 一、三〇〇
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇其他雜品
價 一、三〇〇 一、三〇〇

◇計
價 八、八〇〇 六、八〇〇 一、三〇〇

製糖開始

溪湖と沙鹿

今期製糖のトップを切つて臺中州下溪湖製糖の溪湖製糖所は去る二日製糖開始したが、明治製糖の沙鹿製糖所は十二日製糖開始したが、これは第二番目である。何れも大日本製糖の月島製糖所は來る二十日、明治製糖の南靖製糖所は二十一日に夫々製糖開始の豫定である

東 南 北 西

日糖の昭和製糖會併せ十二月五日から正式發行に入り昭和の臺北本社は二製糖所となつてしまふ

激流

(第十回續)

久生十蘭作
伊勢良夫畫

「おや、あまり寢起きのいい方ぢやないね、あんたも」

すこし鼻眼がのりすぎだ、古風な各型な田舎娘の顏を、おとがた屈にひきゆがめて、

「ところで、なんの話をするつもりだつけな。……ああ、さうさう昨日のお茶の一件、承知したわ小夏手でいいなら、今すぐあげるけど」

「なあんだ、そんな話か」

めえ、と聲を鉾いて、

「大變なことを言ひなさんな。無けりや困るだろ」

「さうでもない。君夜修正でちよつとまごついただけなんだ。明日の朝、貿易公所へ來るから、ほんのそれまでのことだ」

大變に驚いた風情をしてみせて、

「ほんのそれまでのことに、五千円も要るの」

「だつていつもさうだいれ」

「この間、一萬圓くれの金策で苦

「金利生活者の特長よ。何しろ、せち辛いからね」

「金のことやなくさ」

「なんへ、なんだつてさ」

しつとりとした眼附で女房の顏を成りながら、

「それにしても、今日は遲いぢやないか。百貨店だらいふものにも、そろそろ飽が來たといふわけなのか」

こつちは、眠を外さず、

「どうして、なかなか！金儲けの方だけは、一向、飽きが來ませんな」

「こんな生業なんだもの。……ときに、あのひとはどうしてるまもつて、ご無沙汰この頃、まるりごご無のところ音沙汰ないことになつたの」

「おや、もう お忘れ遊ばし」

「今夜の間に方、自殺してしまつたの」

繁子は顏色も変へずに、

「おやおや」

「誰か、醫者呼ばう」

「【七・一〇】朝の挨拶・ラヂオ體操(臺北)・臺北市内各公會堂(臺北)・臺北市内各公會堂(臺北)・臺北市内各公會堂

各地の官選市議きのふ内示さる

いづこも目立つ新顔

臺北市　臺北州

臺北市　台北市会議員官選議員は左の通り内示された（内台人二名宛）であるが新顔は六名（内台人二名宛）でこの中民選議員として働いた依田勝次郎氏を除けばすべての新顔は五名となる訳である（前は新顔）

倉間喜助（台）安田勝次郎（内）
貝山好美（内）八十川周（内）富田榮吉（内）村崎長新（内）相原勇太郎（内）陳復礎（台）池田又四郎（内）藤原勝次郎（内）近藤勝次郎（内）

官選された臺北市の新顔

台北市議官選の新顔は依田勝次郎氏（弁護士）は第一回臺選議員として働いたのでおなじみであるが、他の五氏については見ると顔復礎氏は松山二五元の貸地業で劉銘傳氏の後にたつたもの、藤原保氏は新高町一の一九居住の藤原商会主藤原吉氏の代りに擬せられたものであり、池田又四郎氏は台北市役所土木課長として老舗

臺北州

田勝治（内）新聞記者（内）中島道一（内）池田又四郎（内）近藤勝次郎（内）

臺北市

台北市議官選の新顔は依田勝次郎氏（弁護士）は第一回臺選議員として働いたのでおなじみであるが、他の五氏については見ると顔復礎氏は松山二五元の貸地業で劉銘傳氏の後にたつたもの、藤原保氏は新高町一の一九居住の藤原商会主藤原吉氏の代りに擬せられたものであり、池田又四郎氏は台北市役所土木課長として老舗

臺中州

臺中市

竹市會議員の官選議員は左の通りである

山下彌一郎（内）林獻堂（本）陳炳煌（本）陳啓貞（本）

臺中州

臺中市

竹市會議員の官選議員は左の通りである

山下彌一郎（内）林獻堂（本）陳炳煌（本）陳啓貞（本）

新竹州

新竹市

竹市會議員の官選議員は左の通りである

臺南州

臺南市

伊藤榮吉（内）六館（内）醫師（内）四（内）（醫師）（内）×、林文騰（三）（貸地業）×、林熊徴（六三）（内）（醫師）×、林烈堂（五一）（醫師）（内）×、林伯壽（六三）（内）（醫師）×、川村龍吉（四六）（内）（醫師）×、中江利忠（五二）（内）（醫師）×、中江利忠（五二）（内）（醫師）×、松崎榮吉（五三）（内）（醫師）×、松崎榮吉（五三）（内）（醫師）×、松崎榮吉（五三

總選擧戰愈よ展開

第一日に早速言論戰

【台南電話】台南市の茶話會は十二日午前零時台南劇場の舞台開始するや同一時三十分東並次氏（前議員）が立つてトップを切つて名乘りを擧げ、大時半津川龍一二（前、藥劑師）、蔡德基氏（前、貸地業）等相ついで馳けをなし、荒木彪雄氏（新、織物業）、川崎吉太郎氏（新、鄕軍分會長）、林錦江助氏（新、質屋業）、陳本基氏（新、質地業）、王雲九氏（新、菓子商）、黃金火氏（新、菓子商）等が